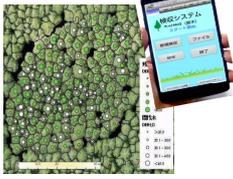


事業番号	10 02 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業者支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S48 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン 2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現 ②県民の豊かさ全国トップレベルを維持 ⑥様々な人の労働参加を全国トップに				
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造 3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

1 現状と課題

目指す姿	林業事業者の育成等を図るため、担い手の育成や労働対策により林業労働力確保を目指す ・新規林業就業者の安定的確保 ・高度な知識・技術の習得、地域で中核となる人材の育成 ・林業就業者定着のための林業事業者の雇用改善・経営合理化の促進、労働安全性の向上 ・林業就業者の安定的確保、林業事業者の経営改善に伴う本県の素材生産量の増大	
これまでの取組	・森林組合常例検査、林業事業者経営改善支援、経営に必要な資金の融資による事業者等への支援 ・新規林業就業者確保、高度な知識・技術を有する就業者の育成など	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題 ・労働災害の発生率の高さや他産業と比べて給与水準などの処遇が低位に留まっていることが、林業への関心の低下になり、就業者の確保を困難にしている。 ・林業事業者のICT化は遅れ、業務の効率化が図られていない。また、スマート林業を担う技術者が不足し、技術の普及も遅れている。 ・林業事業者に融資し未収となっている資金の回収。	今後の方向性 ・安全研修の強化に向けた環境整備と機械化等による生産性の向上に通じた就業者の処遇改善や、若年層向けに林業の認知度の向上を図り、新規就業者の確保と就業環境を改善していく。 ・スマート林業を担う技術者の育成及び技術の普及と、林業事業者のICT化による業務の効率化を図ることにより、スマート林業の推進及びスマート林業技術を用いた課題解決を進める。 ・林業事業者の経営実態を把握し、計画的な返済により未収金を削減する。

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	○コロナ禍における資材不足やウッドショックを背景とした県産材の需要増加に対応できる県産材の増産体制の構築 ・団体育林等の経営に関する意向調査 ・主伐・再造林に取り組む団体育林等の事例調査 ・団体育林等の所有森林において、資源調査及び施策提案書の作成 ○省エネルギー設備等の導入によるコスト削減の支援 ・省エネルギー設備、再生エネルギー設備導入を支援	 <p>高性能林業機械研修</p>  <p>スマート林業技術の普及</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】 ・スマート林業技術の普及により、林業DXの基礎となる現場情報のデジタル化を推進 ・高度な森林調査のためのドローン操作資格の取得に要する経費を支援 【ゼロカーボン】 ・林業の担い手を育成することにより、適切な森林整備を進め、森林の持つCO2固定・吸収機能が高度に発揮されるよう取り組む。 ・林業事業者が機械等を導入する資金を融資することにより、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。 ・スマート林業の推進による施行管理コストの削減により、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								事業コスト					
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
1	林業就業者数	人	1,446	1,449	→	1,449(見込)	↑	2,200	前年度繰越	2,638	0	23,282	
2	新規林業就業者の1年定着率	%	82.0	88.8	↑	88.9(見込)	↑	89.0	当初予算	240,971	163,976	143,379	
3	素材生産量	千m3	564	570	↑	650(見込)	↑	800	補正予算	-34,498	-69,685	15,137	
4									合計(A)	209,111	94,291	181,798	
5									うち一般財源	10,856	10,654	10,583	
									決算額(B)	202,754	64,709		
									職員数(人)	3.6	5.0	6.1	

設定理由	成果指標 1.林業就業者の安定的確保・定着を図るための指標 2.林業就業者の定着を図るための指標 3.林業就業者の安定的確保・育成や林業事業者の経営改善等による生産性の向上を図るための指標 目標値 1.総合5か年計画目標値 2.過去の実績を基に設定 3.総合5か年計画目標値
------	--

事業番号	10 02 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

細事業No.	細事業名	R2年度最終予算	R3年度最終予算	R4年度予算
1	林業就業者確保・育成事業	38,157 千円	42,500 千円	当初 69,465 補正 15,137 千円

DX	該当なし
ゼロカーボン	林業の担い手を育成することにより、適切な森林整備を進め、森林の持つCO2固定・吸収機能が高度に発揮されるよう取り組む。
共生社会づくり	該当なし
学びの県づくり	該当なし

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	林業労働力対策事業	直接 補助金	・事業の効率化と雇用管理体制の改善を一体的に行う事業体を認定 ・林業就業者確保、林業事業体合理化のための共同就職説明会等を開催 ・林業労働力確保支援センターの人件費補助
2	林業就業支援事業	直接	林業就業者確保のため、林業大学の学生が研修に専念できるよう生活資金を給付 【給付対象予定者20人 給付予定額:23,100千円】
3	林業労働力緊急確保対策奨励事業	補助金	林業事業体が経営規模の拡大に向けて新規就業者を3ヶ月以上雇用した場合に奨励金を交付 【予定対象者40人、補助額:14,400千円】
4	林業労働力活用促進対策事業	委託	地域や事業体間における事業量の格差の解消に向けて、林業労働力が不足する地域への労働力のマッチング体制の構築等 【予定額:労働力マッチング支援1,000千円、同意取得等条件整備業務:1,000千円】
5	団体有林等主伐・再造林推進事業	委託	主伐・再造林に関心を寄せる団体等に対し、先進的な取組を行っている事例の紹介、主伐計画や収益性等の施策を提案 【団体有林調査数:3団体、委託料:5,137千円】
6	林業事業所エネルギーコスト削減推進事業	補助金	持続可能な経営基盤を構築するため、省エネルギー設備等の導入を支援 【支援事業者数:10者、補助額:10,000千円】
7	林業就労条件整備促進事業	補助金	林業事業体の就労条件改善と林業就業者定着のため経費の一部を助成 【退職金共済掛金749名分、蜂アレルギー検査32名分、エビネフリン注射器20名分、振動病特殊健診650名分】
8	林業労働災害防止対策事業	直接 補助金	林業労働災害防止のための巡回指導、労働安全衛生対策セミナー等の開催及び安全指導員等の養成のためのプログラムの構築 【実施予定:巡回指導30回、労働安全衛生対策セミナー等2回】
9	林業士等養成事業	直接	林業士を毎年10名養成するため、森林・林業セミナー・林業士入門講座を開催 【森林・林業セミナー対象者:20名、林業士入門講座対象者:10名】
10	里山整備利用地域リーダー養成事業	委託	里山整備利用地域リーダー研修、里山活用の技術、安全講習の開催 【実施予定:リーダー育成研修等35回、委託予定額:3,342千円】

事業名	林業就業者確保・育成及び林業事業体支援事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課
細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
2	林業事業体支援事業	144,910 千円	0 千円	当初 補正	50,727 千円	
DX	該当なし					
ゼロカーボン	林業事業体が機械等を導入する資金を融資することにより、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。					
共生社会づくり	該当なし					
学びの県づくり	該当なし					
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	林業改善資金貸付金	貸付金	林業経営の効率化・林業就業者の福祉向上のため、林業用施設・機械等の導入に必要な資金の貸付を実施 【貸付予定件数:4件、貸付予定額:50,000千円】			
2	林業就業促進資金貸付金	貸付金	林業就業者確保のため、(一財)長野県林業労働財団を通じて林業就業者に必要な資金の貸付を実施 【労働財団が林業就業者への貸付:5名、労働財団への貸付予定額:727千円】			

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算		
3	森林組合等活性化対策事業	26,044 千円	51,791 千円	当初 補正	23,187 千円	
DX	<ul style="list-style-type: none"> スマート林業技術の普及により、林業DXの基礎となる現場情報のデジタル化を推進 高度な森林調査のためのドローン操作資格の取得に要する経費を支援 					
ゼロカーボン	スマート林業の推進による施行管理コストの削減により、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。					
共生社会づくり	該当なし					
学びの県づくり	該当なし					
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	森林組合等活性化対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 森林組合法に基づく常例検査の実施 【全面検査予定数:12組合(うち会計士同行6組合)、部分検査予定数:6組合】 生産森林組合・入会林野の管理・経営改善のための指導・助言 			
2	スマート林業構築普及事業	委託 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 皆伐等に係るスマート林業を実践するため、必要となるシステム等の導入を支援 【支援事業体予定数:23事業体、ドローン操作資格支援予定数:20事業体】 ドローン等ICTを利用したスマート林業に必要な人材を育成 			
3	持続的な林業経営の確立支援事業	委託 直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 県内民間事業体の課題に応じた研修や専門家の派遣、環境整備等により経営改善等の支援を実施 【委託料:6,100千円】 組合運営・経営に係る課題等についてのセミナーを開催【開催予定:4回】 			